

田尻だより

平成 18 年

4月 号

Vol. 37

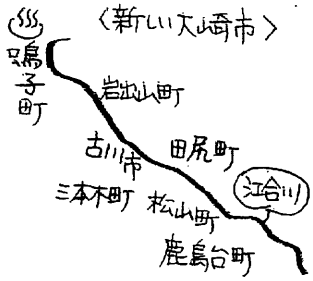
次回の田尻便りは
5月発行予定!

春光うらかな今日
このごろ、人も生き物
も動き始める季節とな
りました。3月から冷
たい水に浸していた種
もみは充分に水を吸い、
後は種まきを待つばか
りです。

農家は、種まきに育
苗、田んぼの準備と、
イネにあわせて作業を
組んでいきます。

組んでいきます。

4月1日、とうとう田尻町が
ついに、大崎市(おおさきし)
となりました。



大崎市は、三合川流域の
1市6町が合併してできました。

見捨ててゆく雁は
花なき里に
住みやならえる

伊勢 古今集

〔鴻雁北〕

春霞立つを

「待望の春が訪れ、もうすぐ
花々が咲き美しい霞も立つと
いうのに、北の空へ帰ってし
まう雁は、花のない里に住み
慣れているのだろうか。」

四月十日は鴻雁北、

すなわち雁が北へ帰つ
て行くころと言われて
います。小野寺家では
この時期に、種まきを

を全員で行います。

北へ帰った雁は大急
ぎで子作りをし、子育
てをします。次の秋ま
でに子供を充分に育て
なければ、厳しい渡り
に耐えられず力尽きて
しまうからです。

宮城県には、日本に
渡って来る雁の9割が
飛来し、越冬します。

厳しい一生を過ごす雁
にとつて、田尻で過ご
す時間が、安らかでの
んびり羽を伸ばせるも
のであればと思います。

以前は国道から一本はな
い田尻町でしたが、



今では
新幹線の駅
あり、鳴子温泉
ありと、なんでもあり
の市にばってしまいました。

米 曆 ~こめごよみ~

3月14日 種もみの塩水選・温湯消
毒・浸水をしました。

(良いもみと悪いもみの選別し、もみに
付着した病原菌を除去したあと、芽が
出るまで水に漬け、発芽抑制物質を
ゆっくり溶かし出します。)

3月末、天気の良い日が続いたので、浸種
していた水の水温が上がり、水面に近い一
部の種もみから芽が出てしまいました。
再び種が眠るよう、水槽を増やして移し
変え、冷たい水に沈めました。

絵文/小野寺みくる

嫁日記

3月26日、ようやく暖かくな
ってきたので、さくら、
はやと、やまとを連れて動
物園に行ってきました。さ
くらはもちろん、私も宮城
に来て初めての動物園です。

初めて見る実物のソウヤキ
リンに、さくらは大興奮!
動物園内を走り回って満喫

してもらえると、親として
も連れてきたかいがあるとい
うもの。そういう私も、
久々の動物園に張り切って
朝早くから大きなお弁当を
こしらえてみたりして(笑)。

あまりお話が上手ではない
さくらですが、動物園楽し
かった?と聞くと、大きな
声で「うん」と返事をし
てくれるようになりました。